

歯科口腔外科

歯科特有の疾患・処置を理解するために
歯科口腔外科の研修・見学をお勧めします

形成外科における顎変形症・顎骨再建・顔面骨折
耳鼻咽喉科における歯科炎症の波及

【一般目標 General Instruction Object: GIO】

- ▶ 臨床医、臨床歯科医として適切かつ安全な医療を提供するために、顎顔面口腔領域の各種疾患に対する基礎的な知識、診察能力、手技を習得し治療計画を立て、他科、医療従事者とのチーム医療の一翼を担える能力を習得する

【行動目標 Specific Behavior Objects (SBOs)】

診療姿勢

- ▶ 歯科、歯科口腔外科診療に必要な基礎的知識に習熟し臨床応用できる
- ▶ 歯科、歯科口腔外科診療に必要な検査・処置・麻酔手技に習熟しそれらの臨床応用ができる
- ▶ 歯科、歯科口腔外科診療を行う上でのチーム医療の大切さを理解する
- ▶ 患者との良好な人間関係を築く事ができる

診断法および検査法

- ▶ 適切な問診に加え、顎顔面口腔領域の視診、触診による診断ができる
- ▶ 血液検査、歯髄検査、歯周検査による病態の把握ができる
- ▶ X-P（パントモ、デンタル、顎関節等）CT、MRIの読影ができる
- ▶ 治療法
- ▶ 縫合（口腔内外）、普通抜歯などの外科的基本手技を行うことができる
- ▶ 一般歯科治療（歯科臨床研修医）の基本的概念を学ぶとともに行うことができる
- ▶ 術前術後の患者管理を理解し、立案できる
- ▶ 感染予防、処置、抗生剤の使い方について述べることができる

経験すべき疾患

- ▶ 歯科疾患：う蝕、歯髓炎、歯周炎、歯根嚢胞
- ▶ 炎症：歯性上顎洞炎、智歯周囲炎、蜂窩織炎、歯槽膿瘍
歯肉膿瘍
- ▶ 顎関節症：クローズドロック
- ▶ 悪性腫瘍：舌癌、歯肉癌 他
- ▶ 顔面外傷：歯牙脱臼、顎顔面骨骨折
- ▶ 奇形：顎変形症、唇顎口蓋裂

【方略 Learning Strategy: LS】

研修指導体制と週間スケジュール

- ▶ 研修開始に当たり、歯科医師臨床研修指導医が担当する
- ▶ 病棟および外来研修
- ▶ 指導医とともに入院患者を副主治医として担当する
- ▶ 入院患者の毎日の経過を観察し、病態を把握してカルテに記載する
- ▶ 受け持ち患者との信頼関係、および病棟スタッフとの良好な人間関係の構築に努める
- ▶ 病棟処置に参加して、広く周術期管理について学ぶ
- ▶ 上級医の外来診療に同席し、診療の流れと病状説明の方法を学ぶ

外来・手術室研修

- ▶ 各種疾患の手術に参加して、基本的な手術手技と解剖を学ぶとともに助手の働きを理解する
- ▶ 麻酔覚醒から病棟搬送の間、常に患者の状態を観察する習慣をつける
- ▶ 救急研修
- ▶ 当番を通じて、救急症例を指導医のもと研修する
- ▶ 症例検討会
- ▶ 口腔外科カンファレンスに参加し、術前診断、治療方針の立案術後診断を学ぶ
- ▶ 抄読会等に参加して最新の知見を学ぶ
- ▶ 研修教育委員会主催の講演会には参加する
- ▶ 上級医が推薦する病院外で行われる教育講演会等に参加する

週間スケジュール

	午 前	午 後
月	外 来	外 来
火	外 来	手 術
水	外 来	手 術
木	病棟回診・外 来	手 術
金	外 来	カンファレンス

※毎週金曜日 16 : 45 E5 病棟カンファレンス (歯科医師、研修医、看護師長、薬剤師)

毎週金曜日 17 : 00 口腔外科カンファレンス (翌・翌々週の手術症例検討、問題症症例検討)

毎週金曜日 抄読会、説明会等

項目	評価者	評価法
医師・歯科医師としての基本姿勢	自己・指導者・看護師長	観察記録・チェックリスト
診療態度・チーム医療	自己・指導者・看護師長	観察記録・チェックリスト
担当した入院患者の疾患・症例	自己・指導者	自己記録・レポート チェックリスト
経験すべき症状の対応	自己・指導者	自己記録・レポート チェックリスト
経験した手技	自己・指導者	自己記録・レポート チェックリスト